吉利汽車(Geely)(00175)

【セクター】 自動車

【市場】 香港

【企業概要】

中国の大手民営自動車メーカー。自社ブランドの「吉利」（Geely）を中心に展開してきましたが、2010年から海外M&Aを通じて、世界トップクラスの自動車メーカーと提携する戦略を採っています。2010年にボルボを買収。2017年にボルボとの合弁高級車「領克（Lynk＆Co）」を発売しました。2018年は（一時）ダイムラーの筆頭株主になり、その後はダイムラーとハイブリッド車向けエンジンの開発を進めています。地域別売上高構成比（22.12期）は中国が85%、海外が15%です。

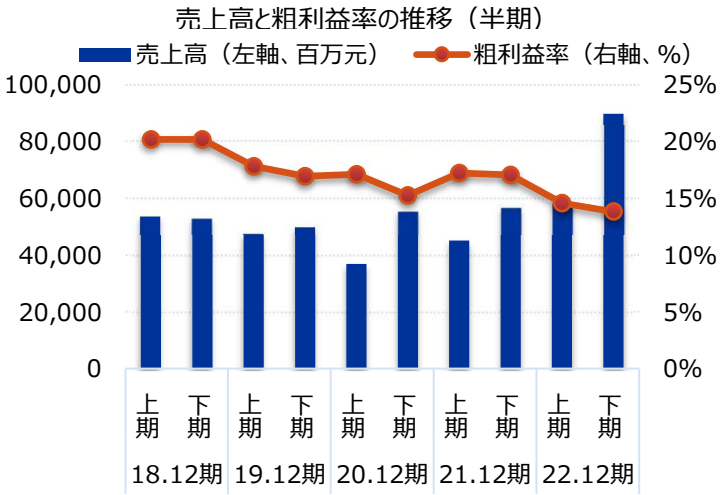
【業績】（単位：売上高、純利益は百万人民元、EPS、1株配当、BPSは人民元、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
21.12期	101,611	4,912	0.49	0.21	6.5	7.5	52.3
22.12期	147,965	6,437	0.50	0.21	7.2	7.7	48.3
23.12期（予）	170,975	5,891	0.62	0.20	7.9	7.4	-

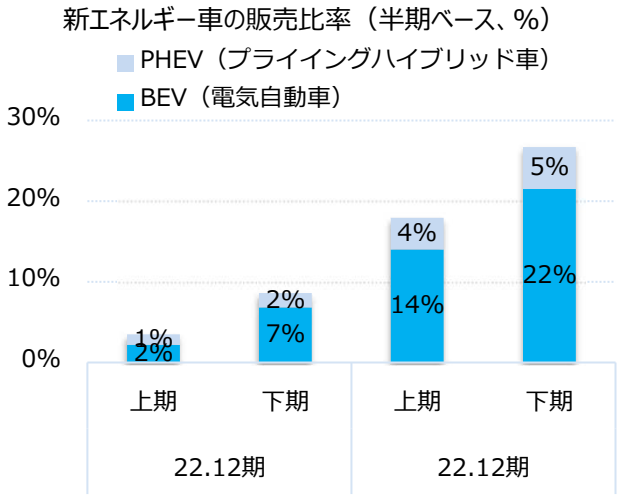
※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】



（出所）会社資料よりSBI証券作成



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

中国の自動車市場は、外資合弁会社と吉利のような中国地場企業との競争が激しいうえ、近年は新エネルギー車へのシフト加速を背景に、新興EV（電気自動車）メーカーの参入が相次いでいます。このような事業環境に対応すべく、同社はボルボやダイムラーなど世界トップクラスの自動車メーカーと提携をすることでブランド力や技術力を強化してきました。近年はEVに力を入れています。2019年に高級EVの「幾何（Geometry）」、2021年に高級EVの「極克（Zeekr）」、2022年に電池交換式EVの「叡藍（Livan）」を発売しました。EV販売台数は伸びが拡大していますが、規模の経済性にはまだ達しておらず、自動車販売全体に占める比率も比較的小さいため、利益への貢献は当分先となりそうです。

【見通し・注目点】

22.12期通期は売上高が過去最高を記録しました。自動車販売台数が前年比8%増となったほか、高価格帯の新エネルギー車の投入が功を奏しました。一方、規模の経済性効果はまだ十分でないうえ、原材料価格の上昇も響き、粗利益率はむしろ低下しました。会社側は23.12期の目標販売台数について、165万台（前年比15%増、うち新エネルギー車は倍増する見通し）を示しました。今期も新エネルギー車を強化し、既存ブランドでそれぞれ新モデルを打ち出す計画です。

（SBI証券 投資情報部 李 燕）

（更新日 2023/4/5）

本レポートに関するご注意事項

・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。

・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。